

棒二森屋店跡地における公共施設整備についての  
Webアンケート調査結果報告書

令和7年(2025年)2月 経済部

## [目 次]

|  |   |
|--|---|
| 1 調査の概要 .....  | 1 |
| (1) 目的   |   |
| (2) 調査対象   |   |
| (3) 調査内容   |   |
| (4) 調査方法   |   |
| (5) 実施期間   |   |
| (6) 回答者数   |   |
| (7) 集計方法等  |   |
| 2 調査結果 .....   | 2 |
| (1) 回答者の属性   |   |
| 設問1 年齢 .....   | 2 |
| 設問2 お住まい .....   | 2 |
| (2) 調査結果   |   |
| 設問3 この規模の中で、どのような公共施設があったら「利用したい<br>(利用する人が多い)」と思いませんか ..... | 3 |
| 設問4 公共施設を「どのように使いたい」, 「使えたら良い」と思っ<br>ますか .....               | 4 |
| 【自由意見 (主なもの)】 .....  | 5 |

## 1 調査の概要

### (1) 目的

棒二森屋店跡地の再開発ビル内に市が整備する「公共施設」について、整備の方向性等を検討する際の参考資料とするため。

### (2) 調査対象

年齢や居住地等を問わず全ての方を対象とする。

### (3) 調査内容

施設の役割，機能等

[回答者への説明内容]

- 函館駅前に位置する棒二森屋店の再開発ビルには、民間事業者が整備するホテル・マンション・商業施設・市民広場のほかに、函館市が「公共施設」を整備する予定です。
- 公共施設の規模は、3階建て建物の2階（約1,000㎡）と3階（約1,000㎡）の2フロア（計約2,000㎡）を予定しています。
- 公共施設の市のイメージについては、「公共施設整備の基本的な考え方（素案）」の6ページにお示ししております。
- この公共施設について、「こんな施設があったら利用したい」「こんな施設なら市民も観光客も利用しそう」などのご意見を募集します。

### (4) 調査方法

- ・ 無記名によるWebアンケート方式とする。
- ・ 市のホームページやQRコードから、アンケートフォームにアクセスして回答する。（同じ内容のアンケート用紙による回答を含む。）

### (5) 実施期間

令和6年(2024年)4月12日～令和7年(2025年)1月11日

### (6) 回答者数

870人

### (7) 集計方法等

- ・ 結果数値(%)は小数第2位を四捨五入して表示しているため、内数の計が合計に一致しない場合がある。
- ・ 複数回答の項目における割合(%)については、対象回答数を分母として集計している。

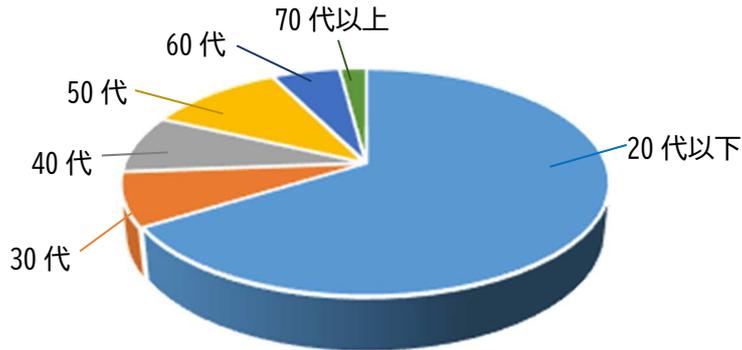
## 2 調査結果

### (1) 回答者の属性

#### 設問1 年齢

(単位:人, %)

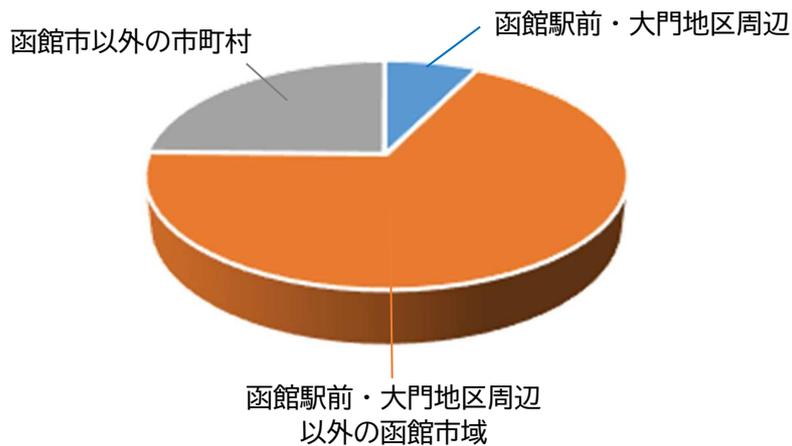
| 20代以下 | 30代  | 40代  | 50代   | 60代  | 70代以上 | 合計     |
|-------|------|------|-------|------|-------|--------|
| 575   | 67   | 71   | 93    | 46   | 18    | 870    |
| 66.1% | 7.7% | 8.2% | 10.7% | 5.3% | 2.1%  | 100.0% |



#### 設問2 お住まい

(単位:人, %)

| 函館駅前・大門地区周辺 | 函館駅前・大門地区周辺<br>以外の函館市域 | 函館市以外の市町村 | 合計     |
|-------------|------------------------|-----------|--------|
| 64          | 591                    | 215       | 870    |
| 7.4%        | 67.9%                  | 24.7%     | 100.0% |

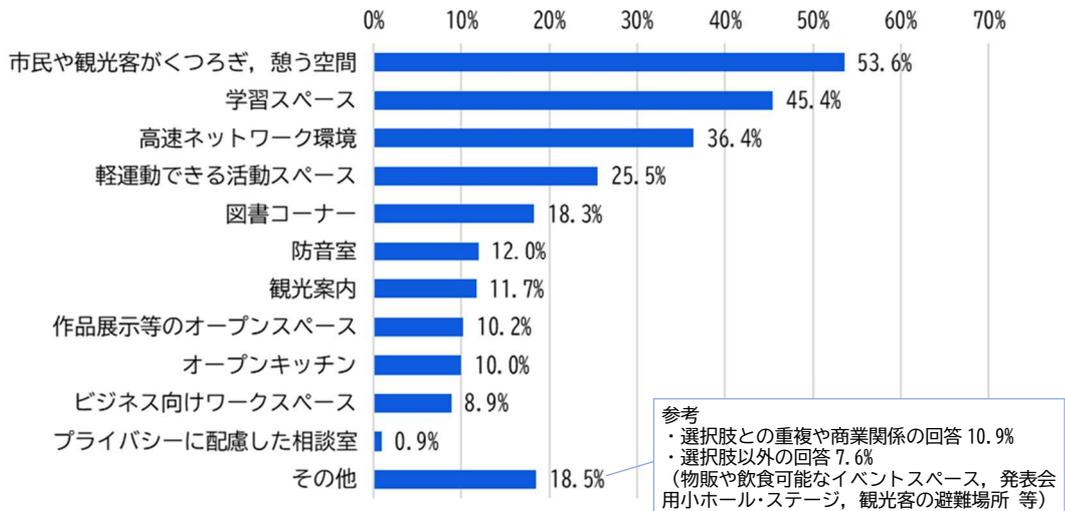


## (2) 調査結果

### 設問3 この規模の中で、どのような公共施設があったら「利用したい（利用する人が多い）」と思いますか。（複数回答可（最大3つ））

どのような施設を利用したいか（利用する人が多いと思うか）については、「市民や観光客がくつろぎ、憩う空間」と回答した割合が最も高く 53.6%，次いで「学習スペース」が45.4%，「高速ネットワーク環境」が36.4%となっています。

年代別では、「市民や観光客がくつろぎ、憩う空間」が、30代の44.8%を除き、全年代で5割以上となっています。また、20代以下は、「学習スペース」が最も高く57.7%となっており、その他の年代よりも高い割合となっています。



#### 【年代別】

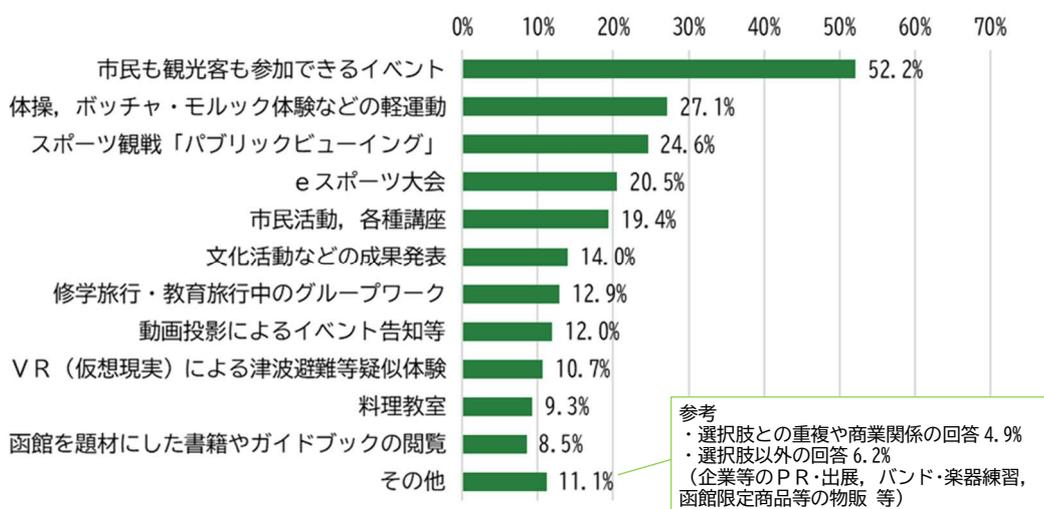
複数回答(単位:人,%)

| 選択項目             | 20代以下        | 30代         | 40代         | 50代         | 60代         | 70代以上      | 合計           |
|------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|--------------|
| 市民や観光客がくつろぎ、憩う空間 | 307<br>53.4% | 30<br>44.8% | 41<br>57.7% | 52<br>55.9% | 27<br>58.7% | 9<br>50.0% | 466<br>53.6% |
| 学習スペース           | 332<br>57.7% | 11<br>16.4% | 18<br>25.4% | 20<br>21.5% | 13<br>28.3% | 1<br>5.6%  | 395<br>45.4% |
| 高速ネットワーク環境       | 226<br>39.3% | 16<br>23.9% | 24<br>33.8% | 40<br>43.0% | 10<br>21.7% | 1<br>5.6%  | 317<br>36.4% |
| 軽運動できる活動スペース     | 167<br>29.0% | 14<br>20.9% | 15<br>21.1% | 17<br>18.3% | 4<br>8.7%   | 5<br>27.8% | 222<br>25.5% |
| 図書コーナー           | 90<br>15.7%  | 12<br>17.9% | 20<br>28.2% | 19<br>20.4% | 13<br>28.3% | 5<br>27.8% | 159<br>18.3% |
| 防音室              | 80<br>13.9%  | 5<br>7.5%   | 7<br>9.9%   | 7<br>7.5%   | 3<br>6.5%   | 2<br>11.1% | 104<br>12.0% |
| 観光案内             | 38<br>6.6%   | 13<br>19.4% | 11<br>15.5% | 22<br>23.7% | 14<br>30.4% | 4<br>22.2% | 102<br>11.7% |
| 作品展示等のオープンスペース   | 26<br>4.5%   | 11<br>16.4% | 16<br>22.5% | 18<br>19.4% | 12<br>26.1% | 6<br>33.3% | 89<br>10.2%  |
| オープンキッチン         | 59<br>10.3%  | 6<br>9.0%   | 6<br>8.5%   | 10<br>10.8% | 4<br>8.7%   | 2<br>11.1% | 87<br>10.0%  |
| ビジネス向けワークスペース    | 26<br>4.5%   | 10<br>14.9% | 18<br>25.4% | 14<br>15.1% | 8<br>17.4%  | 1<br>5.6%  | 77<br>8.9%   |
| プライバシーに配慮した相談室   | 5<br>0.9%    | 0<br>0.0%   | 1<br>1.4%   | 1<br>1.1%   | 0<br>0.0%   | 1<br>5.6%  | 8<br>0.9%    |
| その他              | 81<br>14.1%  | 24<br>35.8% | 15<br>21.1% | 22<br>23.7% | 14<br>30.4% | 5<br>27.8% | 161<br>18.5% |
| 合計               | 1,437        | 152         | 192         | 242         | 122         | 42         | 2,187        |
| (回答者数)           | (575)        | (67)        | (71)        | (93)        | (46)        | (18)       | (870)        |

設問4 公共施設を「どのように使いたい」、「使えたら良い」と思いますか。  
(複数回答可(最大3つ))

使用方法については、「市民も観光客も参加できるイベント」と回答した割合が最も高く 52.2%，次いで「体操，ポッチャ・モルック体験などの軽運動」が 27.1%，「スポーツ観戦「パブリックビューイング」」が 24.6%となっています。

年代別では、「市民や観光客も参加できるイベント」が，20代以下の 49.9%を除き，全年代で 5割を超えています。また，「市民活動，各種講座」，「文化活動などの成果発表」は，70代以上で約 4割となっており，年齢が上がるに従って高い傾向となっています。



【年代別】

複数回答(単位:人,%)

| 選択項目                 | 20代以下        | 30代         | 40代         | 50代         | 60代         | 70代以上       | 合計           |
|----------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 市民も観光客も参加できるイベント     | 287<br>49.9% | 37<br>55.2% | 38<br>53.5% | 57<br>61.3% | 25<br>54.3% | 10<br>55.6% | 454<br>52.2% |
| 体操，ポッチャ・モルック体験などの軽運動 | 176<br>30.6% | 15<br>22.4% | 12<br>16.9% | 25<br>26.9% | 3<br>6.5%   | 5<br>27.8%  | 236<br>27.1% |
| スポーツ観戦「パブリックビューイング」  | 117<br>20.3% | 24<br>35.8% | 25<br>35.2% | 32<br>34.4% | 12<br>26.1% | 4<br>22.2%  | 214<br>24.6% |
| eスポーツ大会              | 134<br>23.3% | 13<br>19.4% | 10<br>14.1% | 18<br>19.4% | 2<br>4.3%   | 1<br>5.6%   | 178<br>20.5% |
| 市民活動，各種講座            | 66<br>11.5%  | 21<br>31.3% | 25<br>35.2% | 31<br>33.3% | 18<br>39.1% | 8<br>44.4%  | 169<br>19.4% |
| 文化活動などの成果発表          | 63<br>11.0%  | 9<br>13.4%  | 13<br>18.3% | 18<br>19.4% | 12<br>26.1% | 7<br>38.9%  | 122<br>14.0% |
| 修学旅行・教育旅行中のグループワーク   | 65<br>11.3%  | 7<br>10.4%  | 11<br>15.5% | 16<br>17.2% | 9<br>19.6%  | 4<br>22.2%  | 112<br>12.9% |
| 動画投影によるイベント告知等       | 69<br>12.0%  | 8<br>11.9%  | 10<br>14.1% | 12<br>12.9% | 5<br>10.9%  | 0<br>0.0%   | 104<br>12.0% |
| VR（仮想現実）による津波避難等疑似体験 | 69<br>12.0%  | 1<br>1.5%   | 6<br>8.5%   | 7<br>7.5%   | 8<br>17.4%  | 2<br>11.1%  | 93<br>10.7%  |
| 料理教室                 | 60<br>10.4%  | 4<br>6.0%   | 3<br>4.2%   | 9<br>9.7%   | 3<br>6.5%   | 2<br>11.1%  | 81<br>9.3%   |
| 函館を題材にした書籍やガイドブックの閲覧 | 32<br>5.6%   | 3<br>4.5%   | 13<br>18.3% | 11<br>11.8% | 12<br>26.1% | 3<br>16.7%  | 74<br>8.5%   |
| その他                  | 50<br>8.7%   | 9<br>13.4%  | 13<br>18.3% | 16<br>17.2% | 9<br>19.6%  | 0<br>0.0%   | 97<br>11.1%  |
| 合計                   | 1,188        | 151         | 179         | 252         | 118         | 46          | 1,934        |
| (回答者数)               | (575)        | (67)        | (71)        | (93)        | (46)        | (18)        | (870)        |

## 【自由意見（主なもの）】

### ■ 20代以下

- ・ 時代に合わせた発展は必須だとは考えていますが、箱館戦争や開港など和洋折衷な文化の織り混ざりが函館らしさだと感じています。この公共施設を利用するこれからの世代の人たちや観光客にもそうした函館特有のイメージ定着にも繋がるような施設になればと思います。そのため、これまでの函館駅周辺の風景などが分かる歴史展示や、和洋折衷的な雰囲気のある空間づくりをしていただけたらと、いち市民として、函館の若者のひとりとして嬉しく思います。ご検討をお願いします。
- ・ 市民の憩いの場として、目的もなく滞在できるスペースがあると良いと思います。ただベンチを設置するだけで、歩き疲れた方が休んだり、待ち合わせに活用できます。また、観光客向けにイベントスペースを駅前に設けることも、外から人を呼ぶというところで有効かと思います。
- ・ 市電利用、JR利用のスキマ時間を過ごせる空間がほしい。ドリンクスタンドを呼ぶなど短時間を過ごすための工夫があると嬉しい。
- ・ 棒二森屋は昔からある建物だったので、函館に住んでいる人々が棒二森屋や昔の函館を忘れないためにも、函館についての展示会をしてみるのはいかがでしょうか。函館はだんだん変わり続けているので、やってみるのは良いと思います。
- ・ 勉強する場所がシエスタハコダテの他にあまりないので勉強スペースを確保してほしいです。
- ・ Gスクエア、亀田交流プラザ、民間企業であれば函館蔦屋書店のような「世代を問わず人が集まり、文化活動ができる」という役割を果たす場所が、函館駅周辺には不足している。地域活性化のために、日頃から集える場所を作ると同時に、イベントなどを行って、様々な世代・立場の人と交流できるような場所にしてほしい。
- ・ 函館駅の近くで1番観光客が来る場所だと考えるので、水族館は難しくとも、観光客が目当てで来れて、市民もわざわざ足を運びたくなるような博物館などでも良いと思う。
- ・ 公共施設は人口の割合を踏まえると、どうしても高齢世代にスポットがあたってしまうが、もっと若年層に向けた活用をしてほしいと思う。
- ・ 体育館的な施設が函館は少ないから体を動かせる場所ができるとよい。
- ・ 近場の駐車場と連携し、何時間まで無料といった制度があると足を運びやすくなる。
- ・ 旭川のICTパークの様な施設を整備してほしい。(FPSや格闘ゲームなどをオフライン環境下【0ping】で行えるような設備が必要)

### ■ 30代

- ・ 世代を限定しない施設にしてほしい。とはいえ、向かいにはみらい館、キッズプラザがあるので、子供向けの施設にはしてほしくない。大人も学生も使える学習スペースが欲しい一方、文化活動や講座等でも使えるようにしてほしいので、防音効果の高い壁であることは必須のように思います。観光客、ビジネス客を含めて誰もが使いやすい施設が望ましいですが、公共施設については、まず市民が何を望んでいるかを1番に考えた施設になることを期待しています。
- ・ 他の施設でも既に行っている又行うことができるというのではなく、函館駅の目の前という立地で函館の顔となるような用途にしていきたい。私見としては、無料でくつ

ろげるスペースというのは、発展がないため、辞めていただきたい。高速ネットワークは維持費が非常に高く、規格の変わりが早いので、ほどほどの速度が出るもので良いかと思えます。外国人観光客が夜（20時以降）に行く場所がないとの声が観光関係者から多く耳にすることから、施設内テナント又は周辺の飲食店との相乗効果が期待出来るような場所にさせていただきたく思います。近年、インドネシアやマレーシアからの観光客が増加しており、礼拝スペースが欲しいです。

- ・ 各種大会やトークイベントなど、外に見えることで賑いになるようなイベントは、なるべく路面に音が漏れてふらっと見ていけるような形態が望ましいので、1階部分に期待しますが、2階3階の様子も路面からわかるような形態が嬉しいです。調整が困難かとは思いますが、新規性のある取り組みとして補助金なども活かしなから、新たな市民窓口となるような、スマートな支所機能の設置もお願いしたいです。1日の市民部の利用者(1日平均200名くらいでしょうか)を考えると、その人達が大門に滞留することの経済効果は大きいのではないのでしょうか。
- ・ 駅前地区でイベントを誘致・開催する場合の本部や拠点として活用出来る空間があればいいなと思います。駅前を市民・観光客向けに整備しているにもかかわらず、そこに人が集まるイベントを開催するのに適していない環境は勿体ないと思います。
- ・ 立派な建物を整備したとしても、狙った集客が全然達成しないような他都市事例も耳にします。一般の方の意見も大切ですが、どちらかという、まずは専門家の意見・助言を軸にして、時間をかけて丁寧に計画を策定いただければと思います。

## ■ 40代

- ・ 施設の用途を限定せず、市民が自由に過ごすことができる空間にして欲しいです。椅子と机と程よいBGM、それと美味しいコーヒーがあれば、勝手に人が集まってくる気がします。普段は机と椅子を大量に置いておいて、何かイベントをする時はそれらを収納するようにしてはどうでしょう。20代の起業やスキルアップを促すセミナーや相談窓口があっても良いと思います。
- ・ 低額でも料金をもらう図書館や書店があるといいと思います。観光客だけではなく地元の人が行きたくなる催事があるとうれしいです。音楽が好きなので、ダンスや吹奏楽やバンドの演奏できる機会ができるスペースがあるといいなと思います。
- ・ 公共施設を運営しており、その立場から感じていることを申し上げます。市民が活動成果発表をする展示スペースが絶対的に足りていません。テオーがなくなってそれが加速しています。体育館の利用ニーズも高いと感じています。よって、それらを解決できる施設を整備してほしいと考えています。
- ・ 函館市ほどの規模の街でeスポーツをできる会場がないので、この機会にどうか。eスポーツメインじゃなくても、いつでもできるようにスクリーンを設置してほしい。
- ・ 高校生と会話する機会が多いのですが、高校生の多くが勉強するスペースを求めていることから、Gスクエアや亀田交流プラザのような施設が駅前周辺にあることで、西高生のほか、JR通学している高校生の利用が見込まれると思います。また、駅前周辺は昼間に営業している店舗が少ないため、高齢者をはじめとする地域住民や観光客が一休みできる場所を見つけるのに苦労しているようです。屋内のイベントスペースとあわせて、予約なしで誰もが気軽に立ち寄ることができるオープンスペースは必要だと思います。
- ・ 車から館内へのアクセスが楽だったり、車椅子の方や高齢者、子供連れの方も利用しやすい広くて安全なバリアフリーの駐車場が併設していると近隣施設への人の流れも変わるかと思っています。

## ■ 50代

- ・ 小さく区切る・用途を限定してしまうというのは、特化できる反面、汎用性が大きく失われて、できることが減る結果になります。トイレ等の共用スペースはすべて捨て、イス・テーブル等は立体的・機械的取用により効率を高め、出来ることを増やしましょう。どうしても間仕切りたい場合は、吊り天井やロールカーテンを利用して、間仕切りを上方空間に収容。高度な空間設計が、何十年にもわたって集客を加速する空間設計を期待します。
- ・ 未来大学はとても不便な場所にあるので、何をやっている大学なのか市民や高校生にとっても謎です。そこで未来大専用のスペースで市民講座やロボットづくり会、プログラミング講座などをすれば、若者の都会への流出も防げるのではと思います。
- ・ 国際観光都市函館をメインに考慮し、観光経済発展の一役に立つ施設にするべき。市民対象施設の新規開設で賑わうのは、長くて1年。全国的に活性化した市民対象施設は、1割も無い現状。リピーターを望まず、来函ビギナーを対象に集客かつ経済効果を目的とする施設にして頂きたい。函館の玄関先なのだから。
- ・ 函館駅前に観光客だけでなく、昔のようにたくさんの市民が来てくれるようなイベントが行われるような施設、環境を整備してほしい。コロナが落ち着いているいまが最大のチャンス、早急に取り組むべきだと思います。若者が楽しめ、集えるような場所を作って、老若男女みんなが満足して何度でも訪れたいと思える施設整備を期待しています。
- ・ この地区は学生がほとんど歩いていないため、学生をターゲットに、気軽に立ち寄れる施設を生み出した方が良くと思う。現在の学生の行動から、商業施設を除くと、シエスタ4Fや亀田交流プラザのような感じにスポーツの要素を加える。
- ・ 大人数でも高速で快適なWi-Fi環境、スマホやタブレット等の急速充電環境の整備、エクボクロク（スマホアプリ）等で予約決済できる手荷物預かり所、手ぶらで函館市内を観光できるようにホテル等に荷物を配送する仕組みの構築。
- ・ 小規模でいいので水族館（道南・函館のいきもの）があると観光客にとっていい。

## ■ 60代

- ・ 外国人観光客に対しては高速ネットワークが不可欠と考える。また、ビジネス向けワークスペースも必要である。
- ・ 市内に点在している大学・高専の学生達の活動拠点として、また、市外の学生が調査活動で函館を訪れるので、その活動スペースができないか。その際、もの凄くお得な全市域乗り放題学割定期など、学生達が常日頃強く感じている函館の交通の不便さを緩和する対策も合わせて考え、駅前への来易さや駅前を拠点とする活動を支援してはどうかと思います。
- ・ 市役所の出張所を設置してほしい。行政サービスの機能を備えてほしい。特に土曜・日曜・休日で開設されることを望む。

## ■ 70代以上

- ・ 市民、とくに駅前大門地区以外（北部、北東部など）の人たちが利活用、参加したいと思える施設になって欲しい。市民が駅前大門地区に来る機会を増やせるように
- ・ 棒二森屋本館にあった木の階段の復元。
- ・ 函館は江戸時代から明治時代への移行する時代の全国の4箇所（起点）の1箇所になる町ですので歴史的な観光ガイドコーナーをつくってほしいです。